

基山&契山&岩野山

佐賀県 基山町 ・ 福岡県 筑紫野市 2026年 4月2日

基肄城跡・大宰府防衛の歴史を物語る山



ロープで囲った植生保護地で見事に咲くオキナグサ。

本日のコース <全行程 4時間00分>

基山草スキー場前面広場駐車場 10:22 → 日本植林発祥の地之碑 10:28 →
基山山頂 10:44 → 基肄城跡 11:00 → 通天洞 11:40 <昼食> 12:22 →
基山草スキー場 12:37 → 基山草スキー場前面広場駐車場 12:48 → <車移動> →
契山登山口 13:10 → 契山山頂 13:23 → 契山登山口 11:28 → <車移動> →
岩野山登山口 13:54 → 岩野山山頂 14:06 → 岩野山登山口 14:22

基山山頂直下の草スキー場駐車から山頂を目指した。山野草の写真を撮りながらだったが約20分で登頂。広大な山頂広場は整備が行き届き、登山すると言うよりハイキング。昼食を含めて2時間半ほどゆっくり散策した後、車移動で近くの契山と岩野山を目指した。



基山草スキー場前面広場駐車場 10:07 到着



ここは基山公園



草スキー場を見上げる



カキドオシ



ムラサキケマン



基山草スキー場前面広場駐車場 10:22 スタートの前に説明標識を見てみよう！



特別史跡 基肄城址の説明標識



コース確認

基肄(きい)城は奈良時代に記された歴史書「日本書紀」と「続日本書紀」にも記されている日本最古の朝鮮式山城です。天智天皇4年(665)に築かれ、日本古代最大の地方官司・大宰府の南の守りを担いました。規模は、周囲約3.9kmを、その多くを土塁で、最も標高が低い場所に水門(南水門)を設け石塁を築いています。

城内には4つの門(北御門跡、東北門跡、南門跡、東南門跡)や、約40棟の礎石建物が確認されており、その多くは当時としては先進的な技術である瓦葺であったと考えられます。城内の最も高所に「大礎石群」と呼ばれる大型の礎石建物が配されています。(説明標識より抜粋)



整備された遊歩道 10:25



「日本植林発祥之地」の碑 10:28

基山は日本植林の発祥地として知られ、筑紫の名の発祥地でもあります。日本最初の植林地と伝えられ、貝原益軒や久米邦武博士によって「筑紫」とはここ「きのやま」(基山)と断定されています。(ネット調べ)



クサイチゴ



ピンクの八重ツバキ



ラッパスイセン



ヒメオドリコソウ



細長い階段を上る 10:42



基山山頂 10:44 タマタマ石・荒穂神社磐座

基山頂上の高台その南端にある巨石は「タマタマ石」と呼ばれ 伝承では基山南麓にある荒穂神社（式内社）が当地にあった頃の磐座（神様の宿る岩）とされています。（ネット調べ）



山頂碑 標高404m



山頂に登頂したと思ったら・・・急に空が暗くなり雨が降ってきた 10:48



オキナグサが雨に濡れて首を垂れている 10:54



絶滅危惧種のおキナグサ(雨の中で撮影)



基肆(きい)城跡 11:00 雨の中、傘を差して進む



アリアケスミレ？ 可憐な白いスミレがポツン、ポツンと咲いていた。



基肆城跡の碑

基肆城は、標高414.13メートルの北帝の峰から二つに分かれる西の峰と東の峰、そして南水門がある谷部分を周囲約3.9kmを土塁と石塁で取り囲む「包谷式」と呼ばれる構造を持つ山城です。



オキナグサ

オキナグサの果実は、花後に花柱が伸びて形成されるそう果(瘦果)で、長さ3mmの小さな種子が1本の花柱に1個ずつ付く。花柱は最初は短く、成熟すると長さ4cmまで伸び、白く長い毛に覆われて羽毛状態になる。果実は多数が球状に集まり、全体としては老人の白髪のようなふわふわした姿になることから「翁草」と呼ばれる。(ネット調べ)



方位版にはここから見える市街地や山々の紹介がされている。



急に陽が射してきた。雨雲が通り過ぎたのだろう。 11:17
ここから九州自動車道の基山SAが確認できた！



空がみるみると青くなってきた 11:18 盛りを過ぎたコブシが花びらを散らしていた



草スキー場の最上部にやって来た 11:25 上から見るとかなりの急勾配

お昼も近くなってそろそろランチタイムだが・・・
再度山頂に戻り、山頂裏の展望を眺めながら昼食にすることにした



ノアザミ

山頂碑(タマタマ石)の裏側には大きな石碑が立っている



天智天皇欽仰之碑



スミレの群生



ウマノアシガタ



遊歩道を下って行く 11:37



右手に展望台らしき建物があつたが老朽化のために使用禁止

「通天洞」

基肄城跡を周知する活動を今に伝えるものの一部が 基山山頂部に残っています。天智天皇
欽仰之碑や通天洞、展望所跡です。これらの建造物は、地元の久保山善映氏(専念寺住職)や、
肥前史談会が中心となり、基肄城跡を広く知ってもらうことを目的に寄付を募り、昭和8年に
建造されたものです。(ネット調べ)



通天洞の前は菜の花畑



菜の花(セイヨウアブラナ?)



スミレ



春の陽気の中で昼食…雨が止んで良かった

11:40 ~ <ベンチで昼食> ~ 12:22



昼食後、三人で記念撮影 12:28 下山に取りかかる



基肄城跡の広場では登山者がのんびり寛いでいる 12:37



基山草スキー場 12:37 草スキー場を歩いて駐車場へ



基山の草スキーは専用の草スキーを貸し出しているようだ。

問い合わせをして出かけよう!

基山町社会福祉協議会 TEL:0942-92-3311(説明標識より)



基山草スキー場前面広場駐車場 12:48 無事に基山を下山

この後は、近くの契山登山口と岩野山登山口へ車で移動



契山(ちぎりやま)登山口 13:10 路上駐車して本日二座目 スタート！



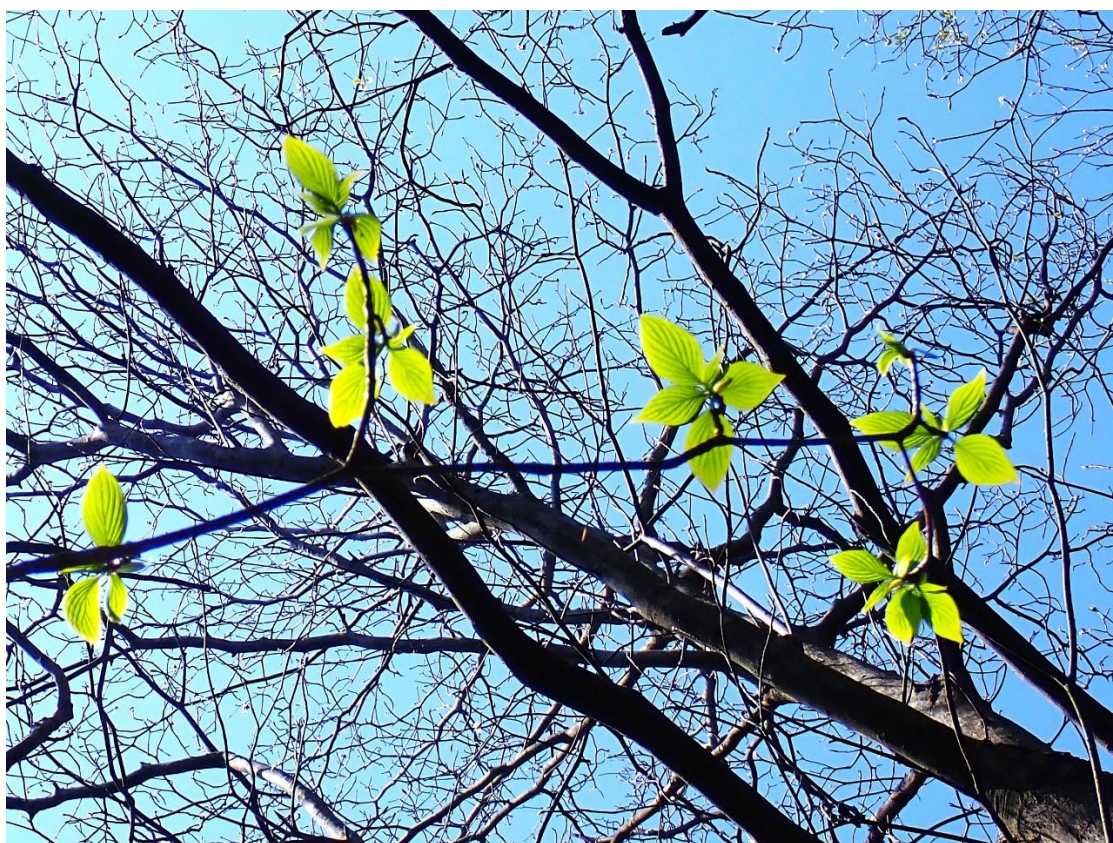
登山口近くにサツマイナモリがひっそり咲いていた



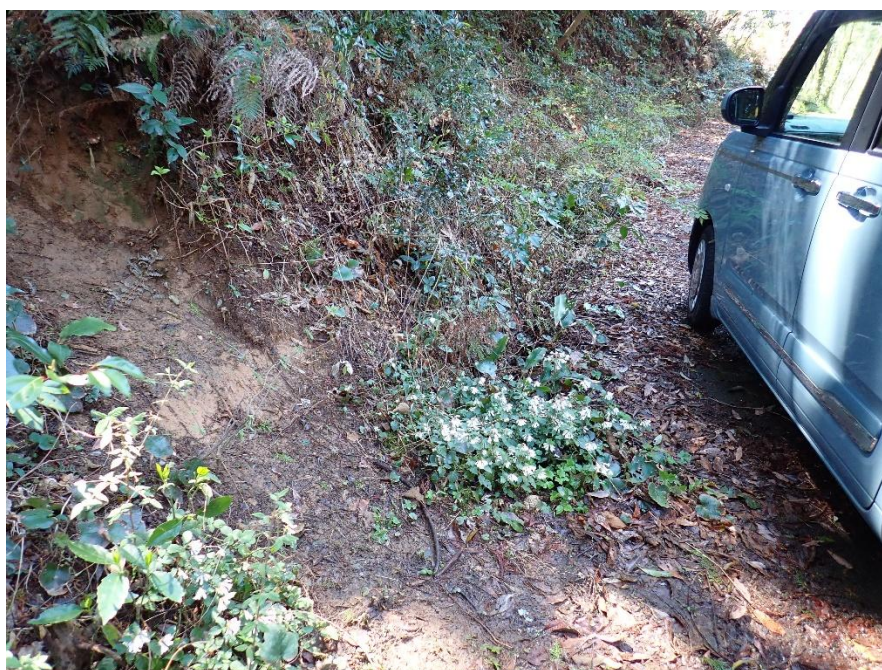
契山山頂 13:23 10分程で、あっという間に山頂到着。展望なし。



契山(ちぎりやま)の名前から、この場所は「恋人たちの♡聖地♡」となっている。



山頂で真上を見上げると、ミズキの新芽。グリーンが綺麗で印象的だった。



契山登山口 11:28 → 取り付いた登山口のすぐ横に辿り着いた。
足下にサツマイナモリが群生していた。ここから来た道に戻って<車移動>岩野山へ！



岩野山登山口 13:54 路肩に停めてスタート



マムシグサがニヨキニヨキと・・・



途中の分岐で左上の道へ 13:58



岩野山山頂 14:06 360m 10分程で登頂！展望なし
今日はこれで三座目。何れもニューピークで満足。



岩野山登山口 14:22 ゴール

三座合計で4時間00分の山歩きが終了

スマホの歩数計は8239歩

T師匠・U師匠、お世話になりました

お疲れ様でした。